

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 12 回 定例委員会
日時	平成30年11月22日 自 15時00分 至 15時55分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	教育長 和野 幸夫 委員 佐藤 郁子 委員 植木 忠夫 委員 齋藤 智子 委員 岡田 秀樹
欠席委員	
会議録署名委員	岡田 秀樹 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 高橋 優介
事務局職員	教育部長 瀬能 仁 教育部次長 山口 朋史 教育部参事 丹野 靖彦 総務企画課長 齋藤 貴志 施設課長 山地 吉明 学校教育課長 阿部 秀明 生涯学習課長 白川 典之 生涯学習課主幹 藤原 誠 第1学校給食共同調理場長 杉本 貴浩 第2学校給食共同調理場長 宮嶋 和久 総務企画課主査 前田 亜矢子 総務企画課主事 高橋 優介
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（岡田秀樹委員）
3 会議録の承認
（和野教育長） 第11回定例教育委員会（平成30年10月26日開催）の会議録
について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（和野教育長） 先月10月26日の定例教育委員会以降の事業などについて報告い
たします。
はじめに、10月19日から24日にかけて、業務日程の合間を縫って平成30年
度の学校管理職の面接を実施いたしました。変則的な日程と短い時間での面接であり
ましたが、子供たちや先生の様子を知ることができる貴重な機会でもあります。同時
に、次年度に向けた人事配置の検討を進めることとなります。
文化事業では、11月3日に文化賞・文化奨励賞の表彰式を開催して、「おはなし
オルゴール」様に文化奨励賞を授与しました。各委員にも出席をいただきありがとう
ございます。20年間で1,000回以上のストーリーテリングのお話し会を開催す
るなど、熱心な活動が評価されたものであります。読み聞かせと同じく、今後の活動

に大きな期待を寄せるところであります。

前後しますが、11月1日には市政功労・自治貢献者表彰が行われ、教育関係では学校歯科医の沖次郎先生、宮本雄一先生、学校医の市村一義先生が、学校歯科医、学校医として30年、35年と長きにわたり学校保健を通して地方自治の振興と発展に貢献したことにより受賞しております。子供たちの健康管理にお力添えをいただき学校教育を進めることができていることに感謝しているところであります。

次に、委員の皆様にも分担して視察いただきましたが、11月7日に教育研究会研究大会が開催されました。視察時間が限られており、駆け足での視察でありましたが、教職員の各分野での研究成果を最終的には子供たちのために、今後の教育活動に生かしていただきたいと期待をするところであります。お気づきの点がありましたら、後日でも結構ですのでご指摘をいただきたいと思っております。

11月8日に、第41回高齢者主張発表会が開催されました。発表会は老人クラブ連合会山川静子会長を始め、各老人クラブの皆様のお力添えをいただき開催しております。発表では、日新町の塙守義さんの「老人と夜」のほか、7名の皆様にこれまでの経験を基に次世代へのメッセージを堂々と発表していただきました。また、苫小牧民報社編集局次長の酒井様には、ご講評をいただいております。

11月17日に、各委員にも出席いただきましたが、苫小牧市立苫小牧東小学校の開校100周年式典が開催されました。100年を振り返る映像により改めて歴史の重みを感じ、校歌斉唱や宝島の合唱の発表での子供たちの元気な姿が、これからの歴史を力強く次につなげてくれるものと感じたところであります。

次に、12月定例市議会についてであります。11月29日が召集告示、同日開催の議案説明会において提出議案や補正予算案の概要について議員説明を行います。

今回の議会日程は、12月6日に開会し、同日、胆振東部地震の被災により延期されていた岩倉市長4期目の「市政に臨む基本方針」が示され、代表質問、一般質問が10日から13日まで、その後各委員会を開催して17日に閉会の予定であります。

最後になりますが、冬を迎えインフルエンザの流行が心配な季節であります。今年

は、これまで雪が降らなく温かい気温が続いたこともあり、昨年より1か月ほど遅れて学級閉鎖になりました。11月19日から小学校4年生1学級であります。ちなみに、昨年は10月24日が学級閉鎖第1号でありました。先の校長会議では、授業時数の確保に苦勞する時代でありますので、インフルエンザ罹患による学級閉鎖を防ぐためにも予防対策に万全を期していただきたいとお話をしております。

また、年末の忙しい時期を迎え、あわせて、成績処理の時期となりますので、作業点検を含めて個人情報の管理にも配慮し、生徒の進路指導等に万全を期し、落ち着いた環境で年末を迎えるよう緊張感を持って学校経営に励んでいただきたいと挨拶しております。

報告は以上であります。本日のご審議よろしくお願いたします。

ただ今の報告につきまして、何か質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 苫小牧市史編さん審議会条例の制定について

(生涯学習課長) -苫小牧市史編さん審議会条例の制定について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何かご質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

第2号 指定管理者の指定について

(生涯学習課長) -指定管理者の指定について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。

(植木委員) 少し教えてください。文化交流センターの方の審査結果ですが、管理経費縮減について、評価が3.6点となっています。図書館の方は大体8点くらいです。これは、文化交流センターは縮減が難しいのか、何か特別な理由があつて3.6点となっているのか、この辺りをお聞きしたいです。

もう1点は図書館の方ですが、今後5年間の事業計画が6点ほど出ていますが、この6点の優先順位、プライオリティについてです。一律にこれをやるのか、それとも優先順位が決まっているのかどうかをお聞きしたいと思います。なぜかという、雨の日に図書館をよく利用するのですが、雨漏りが結構ひどいのです。バケツが図書館のあちらこちらに置いてあるので、雨漏りを直すのが一番先なのではないかと思っています。その辺りの優先順位があるのかどうかを教えてくださいたいと思います。

(生涯学習課長) まず、1点目としてご質問されました、ワーカーズコープの管理経費縮減の評価が3.6点であることについては、ペーパーレス化や在庫管理の徹底を図るという提案はありましたが、その中で細かな経費を削減していくといったところの提案が全く記載されていなかったことと、経費についてはこの間の3年間の実績等を踏まえて市として「基準管理費」を設定するのですが、その「基準管理費」からも圧縮するような内容になっていなかったといったところから、経費を縮減する努力

が見られなかったことで点数が低くなっております。

図書館に関する主な事業計画6点が記載されておりますが、これに関しましては、今後図書館の指定管理者としてこれを取り組んでいきたいという新たな提案であります。今、植木委員がお話しされておりました雨漏りの件につきましては、やはり市民に影響するものですし、所管課の我々生涯学習課としても、やはりよい環境の中、図書館で本を読んでもらいたいという思いはあります。その辺りを財政部局と協議しながら雨漏りの解消を図るために修繕費の要求は行っているのですが、どういう形で雨漏りしているのか、天窓なので窓の部分のコーキングが悪いのか、それとも何か建物的に老朽化があって違う箇所で雨漏りしていて、それが伝わってきているのかといった原因の調査を行う必要がありますし、施設のにも今年度30周年ということで30年経っているものですから、部分的に改修するよりは全体的に把握した中で改修した方がよいのではないかと財政課からも言われました。そこは、我々も気になっているものですから、今後雨漏りがなくなるような対応策を検討していかなければならないと思っております。

(植木委員) ありがとうございます。

(和野教育長) 他にございませんか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

第3号 平成30年度教育費補正予算について

(教育部次長) -平成30年度教育費補正予算について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何かご質問等がございますか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

第4号 教育委員会職員の処分について (諮問)

(和野教育長) 議案第4号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、当該議案の審議を日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(和野教育長) それでは、議案第4号は秘密会とし、当該議案の審議を日程の最後に行うことに決定いたしました。

6 協 議
(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。
(一同「なし」の声)
7 その他
(1) 学校給食費の改定について
(第1学校給食共同調理場長) -学校給食費の改定について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。
(佐藤委員) 1点だけ教えてください。アレルギー対応の献立のことについてですが、今のところ除去対象となっているのは卵と牛乳だけですか。
(第1学校給食共同調理場長) はい。卵の除去食と、牛乳についてはお茶で代替して提供していきまして、この2つだけです。
(佐藤委員) わかりました。
(植木委員) 値上げはやむを得ないと思いますし、特に小学校は喫食数が3回増えるので、現場から見ると大変ありがたいと思いますが、この値上げについては今のところどのような方法で告知をしようと考えていらっしゃるのでしょうか。わかっていることだけでも構いませんので教えていただければと思います。
(第1学校給食共同調理場長) 理事会の方で改定の検討開始と併せまして、全児童生徒の保護者の皆様方にアンケート調査を行わせていただきました。その結果につきましては、簡易版ですが全保護者の方へお返しさせていただいております。今後の周知につきましては、本日教育委員会に掛けさせていただいておりますので、12月定

例市議会が終わった後、2学期中には全児童生徒を通して各家庭の方に周知をしたいと考えております。

(植木委員) アンケートはいろいろな保護者の御意見であったり児童生徒の意見であったりすると思うのですが、いろいろ面白い意見があると思って見させていただいたのですが、この辺りについてもやはり理由をしっかりと周知しないといろいろな意味で問題が起こるのかなと思います。ただ、私が現場にいたときと比べると収納率も大変向上していますし、大変頑張っているなと思いますので、是非その辺りを徹底するとよいのかなと思いますので、よろしくお願いします。

(齋藤委員) 質問というよりも要望ですが、植木委員もおっしゃった通り、やはり物価の上昇という点と、これから献立を充実させるという点で、今回の値上げはやむを得ないと思います。献立が充実してくれたら子供たちも喜ぶのではないかと思います。

ただ、今回アンケートを採って、いろいろな判断基準の参考になさっていると思うのですが、実際に子供たちが食べている様子を見ることも大切だと思います。見に来る方が調理される方なのか、もっと上の方なのかかわからないのですが、こういう給食だと子供たちは喜んで食べるのだとか、こういうお野菜が子供たちは苦手だけれど、こうしたらもっと食べるのだとか、実際に見ることによって献立を作る上で参考になることがたくさんあります。今後、せっかく献立を充実させていきたいという方向にありますので、アンケートももちろん大切ですが、子供たちが給食を実際に食べる様子を見て参考になさっていただきたいと思います。

(第1学校給食共同調理場長) ありがとうございます。なるべく現場に行くようにします。

ただ、全員で5人しかおりませんが、学校配属の栄養教諭の方が献立を立てていますので、食の指導ということで、その5人がほぼ全ての学校へ指導に行っております。そういったところの意見を聞きながら、献立の参考にしていきたいと思います。

(齋藤委員) 好きなものだけを出してほしいということでは全然なくて、苦手なも

のも食べてほしいと思います。家では食べないものでも、学校だから食べるということもあると思います。現場を回って見てくださっていることは存じ上げていたのですが、回数も少ないでしょうし、それを細かく取り入れていくことはなかなか難しいと思いますので、そういう部分も大切にしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

(和野教育長) 他にございませんか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) 他にないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(2) 植苗小中学校における水道水からの油臭について

(施設課長) -植苗小中学校における水道水からの油臭について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何かご質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) それでは、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(3) 苫小牧市育英会における給付型奨学金制度の創設について
(総務企画課長) -苫小牧市育英会における給付型奨学金制度の創設について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。何かご質問等はございますか。
(佐藤委員) 1点質問をします。貸与型の奨学金については、奨学生が就職してから返すのに苦労していることは社会的な問題になっていますので、給付型は非常にありがたいのですが、給付期間について、大学の場合まれに4年以上在籍するケースがあります。その時は4年で打ち切りでしょうか。理由にもよるとは思いますが、給付期間は4年と解釈してよろしいでしょうか。
(総務企画課長) 様々な理由が考えられますので、その状況に応じて対応することになるかと思えます。継続して支給するに当たってはその都度、そのときの学業成績を見ますので、そういった理由が適合しているかどうか判断材料になるかと思えます。
(佐藤委員) 4年間で切らないで、例えば病欠などを考慮してくださるということでしょうか。
(総務企画課長) はい。
(齋藤委員) あまり真面目ではないなどの理由で、逆に4年間のうちに必要がなくなる方もいらっしゃるかと思えますが、その場合は新しく次の方を採用するということでしょうか。
(総務企画課長) 基本的には、卒業する人と入れ替えで毎年新生を15人ずつ採用していくことになるのですが、当然途中で退学してしまう方や、逆に収入が増える方もいらっしゃいます。そういった状況については、自動的に継続する訳ではなく、4年間、あるいは3年間のうちに毎年報告をいただいて、継続審査をすることになります。
(齋藤委員) ありがとうございます。

